

W 学校法人 長崎学院 長崎外国語大学

ぶどうの樹

2017.6
NO. 20



写真：新たに設置された屋外時計と本館正面の桜

INDEX

特集1: 外国語大学の強みを活かす ~通訳ボランティア育成の取り組み~
特集2: 研究活動紹介 ~古写真と携帯アプリを用いた観光周遊コースの開発~

5 チャペル通信

6 SD 研修実施報告 / 劉亜明総領事ご訪問

7 新任教員紹介

8 グローバルスペースの設置 ほか

9 同窓会・保護者会活動報告

10 H28 年度決算報告

GAIDAIからワールドカップへ、オリンピックへ!

—通訳ボランティアセミナー開催—

長崎外国語大学も加入する全国外大連合では、今後予定される各種スポーツ大会への通訳ボランティア派遣を目指し、通訳のスキル等を習得するセミナーを開催しています。第4回となる今回は、2月15日から18日までの4日間、京都外国語大学にて行われ、本学から11名の学生が参加しました。

セミナーでは、通訳技術の講習や実地研修をはじめ、スポーツ文化や京都のローカル文化を理解するための講座が実施されたほか、期間中に開催された京都マラソン2017の外国人ランナー対応のボランティア活動を行うなど、充実したプログラムとなりました。

全国外大連合では、この通訳ボランティアセミナー受講者を人材バンクに登録し、来年韓国で開催される平昌冬季オリンピック、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ、そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックにボランティアを派遣することとしています。既に平昌オリンピックに派遣するボランティアの募集がスタートしており、本学から4名の学生が参加する予定です。

そして、今年の2月12日～27日の日程で開催された「2017冬季アジア札幌大会」の通訳ボランティアとして、本学の学生7名が参加しました。通訳ボランティアは「スマイルサポーターズ」と称され、通訳、運営サポート、選手たちの練習や日常生活のサポートなど、複数の業務を担当しました。今回は、その中から韓国語専修4年の後水流咲彩さんの活動のようすを、写真を中心に紹介します。

着いた日から帰る日まで、一面銀世界でした。鹿兒島出身の私にとって、灰ではないものが積もっているのを見るのは初めてで新鮮でした。私は選手が滞在するホテルをメインに活動しました。



報道の方が選手にインタビューしているところです。普段テレビやネットでしか見られない場面が目の前にあって、不思議な感覚でした。数日で慣れましたが(笑)。



競技会場でパチリ。今日からスマイルサポーターズとして活動します。



活動で意外と多かったのが、選手や報道陣がプライベートな時間を過ごしている際の通訳です。例えば、ホテルの備品などでフロントに質問がある際、選手とフロントのやりとりを通訳する、などです。確かに、公的な場ではないので正式な通訳がいるわけではなく、かといって身振り手振りでは通じるまでに貴重な時間が無駄になってしまうかもしれないので、なるほどと思いました。

また、おかげで関係した人々との距離はとて近くなったと思います。自分の語学の力不足を感じる場面も多くて悔しい思いもたくさんしましたが、それ以上にたくさんの人から感謝されたことでやり甲斐を感じましたし、自信にもなりました。

今回、交通費を自分で出す必要があったために、行くかどうか悩んだのですが、行って大正解でした。国際大会に参加するという、なかなかできない経験をする事ができたからです。しかも、そこで自分が学んできた成果を活用することができるという素晴らしい経験でした。

滞在中は、韓国選手団本部の方々の支えもあり、スムーズに活動することができました。国際大会の雰囲気は今まで経験したことのない独特さで、毎日楽しく過ごすことができました。

現場ではたくさんの
出会いがありました。



毎日のように会って話していたのでメダリストとも親しくなれました。平昌で再会したいです。

今回の経験で、平昌オリンピックでボランティアをしたいという気持ちがより一層強まりました。迷っている人がいたら、自分に与えられたチャンスと思って積極的にチャレンジして欲しいです。ただ、あくまでボランティアでの活動なので、大学や保護者会の皆様には通訳ボランティアセミナーと同様に何らかの金銭的支援を検討していただければ嬉しいです。今回は特に距離が遠かったこともありますが、最後まで悩んだのはやはり金銭的問題でした。世界に羽ばたくであろう後輩たちのためにも是非ともご検討をよろしくお願いします。

韓国の新聞記者の目にとまり、
記事を書いてもらいました!!



先日、平昌オリンピックの組織委員会から連絡があり、オリンピックでも通訳ボランティアとして活動できることになりました!アジア大会の経験を活かして、運営の方や選手、ボランティアなど皆から頼りにされる人になれるようにがんばって活動してきます。最近、就職活動の合間に冬季スポーツの勉強をするのが日課です。

うしろずる さや ささき まさのり
(話し手: 後水流咲彩、聞き手・編集: 佐々木正徳)

古写真と携帯アプリを用いた 観光周遊コースの開発

特任教授 **ひめの 姫野** **じゅんいち 順一**

姫野研究室では、国立情報学研究所の北本朝展教授と提携して平成28年度長崎市交流の産業化応援事業補助金を受託し、携帯(アンドロイド)に搭載するアプリ「長崎古写真ハンティング」を開発し、あわせてこれを応用するモデルとして諏訪神社と外国人居留地の観光周遊コースを開発しました。このプロジェクトは特別演習の受講生の協力で進められました。

このアプリを使えば、携帯に古写真を半透明に透かして、実際に撮影した場所をさがすことができます。こうして古写真を撮影した写真家になりますことができます。つまり古写真の記録と現在の場所を結びつけて、記憶を現実のなかに呼び醒ますことができます。

いま流行っている「ポケモンGO!」は、CGで作ったキャラクターを携帯で仮想的に探すもので、AR(拡張現実)と呼ばれます。私たちのアプリは、過去の現実風景を、現在の風景のなかで探すものであり、MR(記憶現実)と呼ぶことができます。

諏訪神社の観光周遊コースでは、鳥居や長坂、中門や本殿、お庭の記憶がよみがえります。外国人居留地では大浦の通りや川、大浦天主堂やグラバー住宅などの記憶が呼び醒まされます。

周遊コースには、近づいたら合図が鳴るといったゲーム性も加味されています。観光客の行動をGPSで追跡できるので、集客管理にも使えます。実証実験に参加した学生のみなさんからは、「古写真を使って観光の魅力を学ぶ楽しさを学んだ」、「自分や他の協力者それぞれが楽しめた」、「番組内で告知する、長崎の観光案内所にポスターやパンフレットを設置する、FacebookやInstagramといったSNSを利用する」といった声が聞かれます。

アプリは開発途上であり、利用の拡大を通じてバージョンを高めていく予定です。

アプリ
長崎古写真
ハンティング



「長崎古写真ハンティング」のキャラクターは韓国留学生のユ・ソヨンさんに書いてもらいました。



実証実験中の学生



半透明の映像



チャペルアワーの近況

宗教主任 **こにし 小西** **てつろう 哲郎**

学校礼拝「チャペルアワー」の近況をお知らせします。チャペルアワーは建学の精神を再確認するひと時で、学校草創期以来行われてきた大切な行事です。今年度は授業期間中の毎週水曜日の午後12時40分から1時まで行われており、1年生を中心に200名近い学生と教職員が毎回出席しています。(開催時間にゆとりを持たせ、より参加しやすくするため、2018年度からは授業時間割の中に組み込んで開催される予定です。)

会場である本学のチャペル(=礼拝堂)を兼ねる411ホールに、昨春新しい設備が導入されました。その一つは、ステージに登場した、スライドや動画を映すことができる4分割の大きなモニターです。礼拝の時は講話の題や講師の肩書を、場合によっては関連する写真や図表なども、スマートに表示できます(写真)。411ホールには、他にも録画や同時通訳、コンピュータ制御のためのスタッフ用ブースが出現し、照明も革新的なシステムに一新されました。より良い礼拝・授業のためにこのような設備を活用したいと思っています。



学生YMCAサークル 「バイブルスタディ」 (聖書研究会)のご案内

授業開講期間の毎週月曜日、午後12時15分から1時まで、402教室で開催しています。学生たちが理事や宗教主任などと一緒に聖書やキリスト教を学んだり、賛美歌を歌ったり、トーンチャイムの練習をしたりしています。飲食自由のゆるい集まりですので、どなたでも昼食持参でお立ち寄りください。



“賛美礼拝”が 好評、 3年目に突入!



シンガーソングライターで本学卒業生のタナカハルナさんが参加者と讃美歌を歌う“賛美礼拝”が、3年目に入りました。昨年度のチャペルアワーで歌われた讃美歌は、「いつくしみ深い」「God Bless You」「君は愛されるために生まれた」などです。タイトルを見てメロディーと共に青春時代が思い出される卒業生も多いのではないのでしょうか。現役学生の中には「他の礼拝は辛いけど、賛美礼拝はきれいな先輩の美しい歌声が聞けるから好き!」という声もあるとかないとか。(おっと、これはナイショの話でした。)

SD (教職員研修) として、2つの講演会が開催されました

I 宿久高 名誉客員教授 講演会

2月14日(火)、本学名誉客員教授 宿久高氏による講演会を実施しました。宿教授は中国にて長年日本語教育及び研究に尽力された方で、今回は本学の教職員に向けて「私の履歴書」と題し、ご自身の生い立ちから、苦学して日本語習得に注力した学生時代、恩師との出会い、日本滞在中のご経験などについてお話をいただきました。学生時代の学問に取り組む真摯な姿勢や、厳格ながらも思いやりを溢れた恩師のエピソードを伺うことで、本学においても学生一人ひとりと正面から向き合い、教育者としての熱意を失うことなく日々の仕事に取り組もうという思いを新たにしました。



講演の様相

なお、本講演にはたまたま同日に本学を訪問された台湾・華梵大学の高柏園 学長、張鴻彬 文学院院长も同席なさいました。

II (株)ジャパネットたかた創業者 高田明氏 講演会

2月17日(金)、本学ホールにて、株式会社A and Live代表取締役で、株式会社ジャパネットたかた創業者、高田明氏による講演会を実施しました。

「経営者からみた大学における教学運営の在り方」と題した講演では、企業経営者としての長年のご経験をもとに、現在の大学を取り巻く閉塞感を打破し、昨今の若者気質を持った学生たちを教導していく方法についてお話いただきました。「なぜこの大学があるのか」「何のために働いているのか」を常に省みること、目指すべき将来像と学修に対する目的意識を学生に植え付けること、今後の本学の教学運営に大いに参考となる貴重な話を拝聴できました。



講演の様相

歓迎 劉亜明 中華人民共和国駐長崎総領事 本学ご訪問

1月17日、中華人民共和国駐長崎総領事として新たに赴任された劉亜明総領事が本学を訪問し、石川学長らと会談されました。劉総領事は、本学と国際交流協定を締結している大連外国語大学日本語学科のご出身でもあり、当日は同大学から本学に留学中の留学生、郝星波さん、魏煜晗さんも同席し、総領事から二人に日本留学中のアドバイスなどをいただきました。大学の先輩として現在国際的に活躍なさっている劉総領事からの温かい激励の言葉に、留学生の二人は感激しきりの様子でした。

郝星波さん、魏煜晗さんのコメント

劉亜明総領事が、私たちと同じ大連外国語大学出身だと聞き、最初はとても驚きました。少し緊張しながらお会いしましたが、親切なやさしい方でした。留学中は、サークルなどのいろんな活動に参加したほうが良いとのアドバイスをいただきました。また帰国後は、大連で就職を考えている話をしたところ、日系企業が多いので活躍できる機会は多いと教えていただき、大学院に進む場合でも、ぜひ長崎外国語大学での経験を活かして学ぶテーマを考えたほうが良いとの明確なアドバイスをいただきました。30分弱の面会でしたが、とても貴重な経験になりました。残りの留学生生活に活かしていきたいです!



よろしくお願ひします! —2017年度新任教員紹介—

(五十音順)



かわつ もとひ
河津 基 国際コミュニケーション学科/講師

ネパールからの新入生18人を中心に、4月から日本語教育を担当しています。これまでシンガポール、香港、台湾、秋田で日本語を教えてきました。韓国ソウルへ1年間の留学経験があり、昨年度までは大学生の留学指導や海外研修、協定校からの研修受け入れなど、グローバル人材育成の仕事をしていました。専門は音声学です。外国語を上手に発音したい方、日本語のアクセントやイントネーションについて学びたい方、ぜひ声をかけてください。



キム ユソン
金 有善 国際コミュニケーション学科/講師

私は大学時代、佐賀に短期留学していたときに一度だけ長崎を訪れたことがあり、長崎という街にすっかり魅了されました。その後10年以上、韓国の釜山外国語大学で韓国語を教えながら「もう一度日本に行きたい」という思いを持ち続けてきましたので、このたび長崎外国語大学に来ることができた幸運を本当に嬉しく思っています。これから長崎についてもっと知見を深めつつ、皆さんが韓国語をより親しみやすく、楽しく学べるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



なかむら としゆき
中村 稔行 国際コミュニケーション学科/講師

新潟県出身で、大学卒業後は東京近郊で飲食関係の仕事をしていました。その後中国で1年、韓国で3年、オーストラリアで6年ほど、日本語教育に携わってきました。長崎には初めて来ましたが、この海と山に囲まれた大学の環境が気に入っています。専門は応用言語学(第二言語習得)で、特に学習動機づけに関心があります。どうぞよろしくお願ひいたします。



にいみ たつや
新美 達也 現代英語学科/准教授

これまでにイギリスのブライトン、フランスのカヌ、ベトナムのハノイとホーチミン市に住んでいたことがあります。九州は佐賀県に1年半、長崎ははじめて住みます。今学期から主として経済学やグローバル経済、国際ビジネス演習を担当しますが、地域を知ること重要だと思ひます。古くから長崎は日本の海外への窓口でもありますから、授業や研究のシーズが至る所にちりばめられているのではないかと楽しみです。



ひがし さくらこ
東 桜子 国際コミュニケーション学科/助教

昨年の3月に長崎外国語大学を卒業し、韓国の日本語専門学院で日本語を教えていました。そしてこの度母校で日本語教師として働かせていただくこととなり、大変嬉しく思ひます。学生時代は韓国語専修で韓国語を学びながら、日本語教員養成講座を受講し、箏曲部でお箏をしていました。お箏は今も練習に参加していますので、興味がある方はぜひ一緒に弾きましょう。他にもいろいろな学生の方とお話しできればと思ひますので、気軽にお声かけください。よろしくお願ひいたします。

長崎外国語大学では、中長期計画2014-2020《長崎外大ビジョン21》における「グローバル人材育成」の方針にしたがって、日本人学生と留学生との交流拡大を精力的に進めております。その一環として、学内のあらゆる場所で積極的に国際交流できるような環境の整備に努めて参りましたが、平成28年度は、私立大学等改革総合支援事業（教育研究活性化設備整備費補助金タイプ4）*を獲得し、国際交流拠点施設「グローバルスペース」（アンペロス寮、体育館、学生食堂）の機能拡充を図りました。「キャンパスが世界、世界がキャンパス」のスローガンに、また一歩近づくことができました。

① アンペロス寮

大型電子黒板やweb会議システム等の高度なIT機器を備えた共同学習スペース（ラーニングcommons）を寮内に設置しました。夜間も稼働している寮にこの設備を導入することにより、時差のある欧米に留学中の学生あるいは協定校の外国人学生とのリアルタイム通信が容易になりました。また、既存の「共同キッチン」とあわせて、様々な形態の交流イベントや学生主体のワークショップ等、多方面の展開が期待されます。



② 体育館

本学では、体育館を使って地元の中学校、小学校および幼稚園等と本学に留学中の外国人学生との活動型交流を実施してきましたが、今回の整備により最新の音響機器と電子黒板、マルチモニターを導入し、多人数に対する説明のみならず、言語グループに分かれての活動など、広い空間を活かしたダイナミックな活動が可能となりました。



③ 学生食堂

学食の一角を、外国語ランチミーティングおよびカンパセーションパートナーの活動等をおこなう語学村（呼称:talk）本学で学べる英独仏中韓日の6言語によるおしゃべりをイメージ）としました。他の区域とは異なるデザイン性の高いテーブルと椅子を導入し、カフェでゆったり会話を楽しんでいるような雰囲気を醸し出しました。日本人学生と留学生とが参加するランチミーティングは、学期中の昼休みに、曜日ごとに決まった言語を対象に開催しています。



KEY WORD ※「私立大学等改革総合支援事業」

私立大学等が組織的・体系的に取り組む大学改革の促進を目的とする、国の競争的補助金事業。（タイプ1:教育の質的転換）（タイプ2:地域発展）（タイプ3:産業界・他大学との連携）（タイプ4:グローバル化）の4つの種別があり、本学は平成28年度、タイプ1/2/4に関して申請が採択された（総額28,612,000円）。この内、特に（タイプ4:グローバル化）に関して本学の取り組みが高く評価されたことにより、教育研究活性化設備整備費として10,724,000円が交付された。

新たな外大のシンボルに！屋外時計が設置されました

このたび、本学キャンパス正門の脇に新たに屋外時計（本号表紙写真 参照）が設置されました。この屋外時計は本院の創設者 故・青山武雄氏のご令息・青山愷さんよりご寄贈いただいたものです。

1月25日(水)には除幕式を開催し、青山さんのほか、本院の理事長 粟屋曠はじめ関係者一同が列席しました。ご自身も本院の短期大学で教鞭を執られていた青山さんから「学院黎明期の創設者の思いを引き継ぎ、70年以上にわたり本院の発展に貢献した諸先達に敬意を表するとともに、本学が更なる発展を遂げることを期待したい」とのご挨拶があった後、列席者による除幕が行われました。

この屋外時計が新たな外大のシンボルとして皆に親しまれ、毎日登下校する学生たちの姿を温かく見守りつつ、本学とともに長きにわたって時を刻んでくれることを願っています。



除幕の様子
（前列中央が青山愷さん）

TOPICS 短大時代、初期の紀要『長崎外語短大論叢』の寄贈について（お願い）

次の各号の『長崎外語短大論叢』をご寄贈いただきたく、卒業生および当時の大学関係者の皆様をお願いいたします。現在、本学ライブラリーで保存している短大時代の下記3冊の紀要は、保存冊数が極端に少なく状態も良くないため、後世に残すために状態の良いものを探しております。

『長崎外語短大論叢』第1号（創刊号:1955年刊行）（英語タイトルなし）

『長崎外語短大論叢』第3号（1957年）（Nagasaki Gaigo Tandai Ronso）

『論叢』第29号（1986年）（The Journal of Nagasaki Junior College of Foreign Languages）

ご家庭にお持ちの方がいらっしゃいましたら、本学ライブラリー宛てにご連絡くださいますようお願いいたします。

ご連絡・お問合せ先

長崎外国語大学教育研究メディアセンターマルチメディアライブラリー事務局
TEL:095-840-2005 e-mail: library@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp



長崎外国語大学保護者会

11月3～4日 外語祭でTシャツ販売決定♪

★デザイン採用で賞金3万円★

さあ、3万円はいったい誰の手に♪
君のアイデアで外大Tシャツ作ってみない？
今年もオリジナルTシャツを制作し販売します。
なんと、1枚¥500で販売され大人気でした！
（売り上げは学生のみなさんへのサポート支援金です）
今年もどんなステキなTシャツができるか楽しみ♪



外語祭11/3・4
次回のTシャツ
お楽しみに♪



★誕生★新同好会制度

今年度より新しくなりました。（活動支援費あります）
なんと三人集まれば新しい同好会が出来るんです!!
自分たちのやりたかったことをもっと思いっきりやろうよ♪

今年度も学生や先生方に負けなくらい熱い新保護者会メンバー15名。
学生のみなさんが楽しい毎日を送れるように盛り上げたいと願っています★
保護者のみなさま、最後の学生生活の思い出づくりをいっしょに楽しみましょう♪

長崎外国語大学同窓会

2017年 第3回関東支部同窓会開催のお知らせ 10月8日、東京会館銀座スカイラウンジ

日時：平成29年10月8日(日)12時
会場：東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館15階（TEL.03-3212-2775）
会費：¥2,000

★東京交通会館15階、東京会館銀座スカイラウンジ
昼食代（¥3,000）

関東支部以外の同窓生のご参加大歓迎です。

ご参加のお申込みは、10月3日(火)までにご連絡ください。

ハガキによるお申込みは:

〒173-0036
東京都板橋区向原3-7-7 コウシャハイム向原7号棟415号
平木 輝生（ヒラキ テルオ）宛

メールによるお申込みは

email:teruo5891@jcom.home.ne.jp
件名は「10月8日同窓会」とご記入ください。

企画：幹事一同

2016年第2回同窓会の報告、平成28年8月6日(土)、東京都港区の国立新美術館（B1カフェテリア）、平野会長と出口様をお迎えして、印象派ルノアール展を鑑賞後、会員10名が参加して行われた。平野会長から新校舎のDVDの紹介があり、全員で鑑賞した。

関東地区支部同窓会支部長 平木 輝生



学校法人長崎学院 2016(平成28)年度決算報告

現在、学校法人長崎学院長崎外国語大学は「長崎外ビジョン21」に沿って財務基盤の確立および財務体質の強化に努めています。大学収入の源泉は「授業料等」、「補助金」、「寄付金」、「その他」と4つに大別されますが、その中でも「授業料等」は2016年度事業活動収入計(帰属収入)の内61.5%を占めています。2016(平成28)年5月1日付の総在籍数は680名(対前年度比15名増)、2016(平成28)年11月1日付の総在籍数は686名(対前年度比26名増)と対前年度比41名を上回ることが出来ました。また昨年5月1日付の1次次入学者数は150名と入学定員を下回りましたが、学生募集の強化に取り組んだ結果、2017(平成29)年5月1日付の1次次入学者数は190名と入学定員を大幅に上回ることが出来ました。

学生生徒等納付金収入全体では、予算比で786万円の増収、前年度決算比で374万円の減収となりました。また、「補助金」においては、私立大学等改革総合支援事業や私立大学等教育研究活性化設備整備事業そして私立大学等経営強化集中支援事業の採択により予算比で790万円の増収、前年度決算比で996万円の減収となりました。

これらの結果、事業活動収支(消費収支)においては事業活動収入計(帰属収入)が12億6,508万円となり、予算比で3,303万円の増収、前年度決算比で1,855万円の減収となっています。一方、支出については、全学一丸となって経費の低減に努めた結果、事業活動支出計(消費支出)が11億6,842万円となり、予算比で1,036万円の支出減、前年度決算比で2,518万円の支出減となりましたが、概ね計画通りに推移することが出来ました。

上記の結果、2016(平成28)年度決算では事業活動収支(消費収支)において9,666万円(予算比4,339万円増益、前年度決算比664万円増益)の大幅な改善となりました。

資金収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

[収入の部] (単位:円)				[支出の部] (単位:円)			
科目	平成28年度予算	平成28年度決算	差異	科目	平成28年度予算	平成28年度決算	差異
学生生徒等納付金収入	769,814,000	777,678,680	▲7,864,680	人件費支出	556,471,835	543,232,531	13,239,304
手数料収入	6,393,000	7,897,752	▲1,504,752	教育研究経費支出	267,724,844	266,458,032	1,266,812
寄付金収入	5,000,000	2,900,000	2,100,000	管理経費支出	161,792,018	170,140,399	▲8,348,381
補助金収入	252,964,000	260,863,194	▲7,899,194	借入金等利息支出	51,074,111	50,047,267	1,026,844
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	491,320,258	491,320,258	0
付随事業・収益事業収入	184,744,500	183,928,074	816,426	施設関係支出	14,290,000	16,860,702	▲2,570,702
受取利息・配当金収入	55,000	31,643	23,357	設備関係支出	28,121,000	26,232,152	1,888,848
雑収入	10,047,360	12,922,051	▲2,874,691	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	350,000,000	350,000,000	0	その他の支出	36,236,739	39,885,717	▲3,648,978
前受金収入	238,419,000	268,593,748	▲30,174,748	[予備費]	5,000,000	—	5,000,000
その他の収入	35,019,304	49,371,431	▲14,352,127	資金支出調整勘定	▲27,944,408	▲37,539,843	9,595,435
資金収入調整勘定	▲252,149,450	▲251,001,867	▲1,147,583	翌年度繰越支払資金	142,187,141	222,514,315	▲80,327,174
前年度繰越支払資金	125,966,824	125,966,824	0	支出の部合計	1,726,273,538	1,789,151,530	▲62,877,992
収入の部合計	1,726,273,538	1,789,151,530	▲62,877,992				

活動区分資金収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

教育活動による資金収支 (単位:円)				施設整備等活動による資金収支 (単位:円)				その他の活動による資金収支 (単位:円)			
収入	支出	調整勘定等	教育活動資金収支差額	収入	支出	調整勘定等	施設整備等活動資金収支差額	収入	支出	調整勘定等	その他の活動資金収支差額
1,232,229,739	979,518,729	51,809,760	304,520,770	13,780,000	43,092,854	▲1,134,656	▲30,447,510	364,437,356	541,962,998	▲127	▲177,525,769
274,073,260				274,073,260				96,547,491			
				125,966,824							
				222,514,315							

事業活動収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)				
科目	平成28年度予算	平成28年度決算	差異	
① 教育活動収入計	1,212,892,698	1,237,934,865	▲25,042,167	
② 教育活動支出計	1,122,702,697	1,114,509,773	8,192,924	
③ 教育活動収支差額	90,190,001	123,425,092	▲33,235,091	

(単位:円)				
科目	平成28年度予算	平成28年度決算	差異	
④ 教育活動外収入計	55,000	31,643	23,357	
⑤ 教育活動外支出計	51,074,111	50,047,267	1,026,844	
⑥ 教育活動外収支差額	▲51,019,111	▲50,015,624	▲1,003,487	
⑦ 経常収支差額	39,170,890	73,409,468	▲34,238,578	

(単位:円)				
科目	平成28年度予算	平成28年度決算	差異	
⑧ 特別収入計	19,100,000	27,113,097	▲8,013,097	
⑨ 特別支出計	0	3,860,805	▲3,860,805	
⑩ 特別収支差額	19,100,000	23,252,292	▲4,152,292	
⑪ 予備費	5,000,000	0	5,000,000	
⑫ 基本金組入前当年度収支差額	53,270,890	96,661,760	▲43,390,870	
⑬ 基本金組入額合計	▲135,922,525	▲130,267,119	▲5,655,406	
⑭ 当年度収支差額	▲82,651,635	▲33,605,359	▲49,046,276	
⑮ 前年度繰越収支差額	▲3,024,706,565	▲3,024,706,565	0	
⑯ 基本金取崩額	0	0	0	
⑰ 翌年度繰越収支差額	▲3,107,358,200	▲3,058,311,924	▲49,046,276	

(参考)

⑱ 事業活動収入計	1,232,047,698	1,265,079,605	▲33,031,907
⑲ 事業活動支出計	1,178,776,808	1,168,417,845	10,358,963

貸借対照表 平成29年3月31日

資産の部 (単位:円)				負債の部 (単位:円)			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	5,708,090,168	5,798,522,326	▲90,432,158	固定負債	1,710,270,131	1,860,765,282	▲150,495,151
有形固定資産	5,691,879,862	5,781,333,520	▲89,453,658	流動負債	532,502,840	487,507,275	44,995,565
特定資産	10,000,000	10,000,000	0	負債の部合計	2,242,772,971	2,348,272,557	▲105,499,586
その他の固定資産	6,210,306	7,188,806	▲978,500				
流動資産	248,625,764	167,031,432	81,594,332				
資産の部合計	5,956,715,932	5,965,553,758	▲8,837,826				



今年4月1日の入学式にて。
恒例となった、壇上での新入生と石川学長との握手の様子。
一人ひとり、引き締まった表情で登壇し、
新生活への決意を新たにしているのがとても印象的でした。
新入生の皆さんの充実した大学生活を願い、全力で応援しています!

長崎外大 2017年度 年間スケジュール

今年も本学では以下のイベントを予定しています。

春	4月1日	2017年度春季 入学式
	4月7~8日	新入生雲仙一泊研修
	5月23日	スポーツ大会
	6月3日	長崎外国語大学保護者会 定期総会
	6月17日	オープンキャンパス
夏	7月10日	留学許可書授与式
	7月22日	オープンキャンパス
	8月5日~9月22日	夏季休暇(夏休み)
	8月19日	オープンキャンパス
	9月20日	2017年度秋季 入学式
秋	9月22日	2017年度秋季 卒業式
	10月7日~9日	インターナショナル・デイ(長崎くんち体験)
	10月14日・21日	長崎外国語大学 地区別保護者懇談会(福岡・長崎)
冬	11月3日・4日	第67回『外語祭』
	12月1日	創立72周年記念式典・記念礼拝
	12月13日	長崎外大スピーチ大会/全学クリスマス礼拝
	2月10日~3月31日	春季休暇(春休み)
	3月10日	保護者対象 留学事前説明会
	3月16日	2017年度春季 卒業式

※既に実施済のものを含みます。予定は諸事情により変更されることがあります。